

全体の活動報告

センター全体の活動一覧

| 月 日 | 活 動 報 告 |
|--------|---|
| 6月18日 | 第1回合同例会 |
| 8月1日 | 『難波潟』No.1刊行 |
| 8月8日 | 八尾市植田家事前調査（祭礼遺産研究プロジェクトR.A.内田・内海／生活文化遺産研究プロジェクトR.A.宮元・千葉／学芸遺産研究プロジェクトR.A.松本／歴史資料遺産研究プロジェクトR.A.櫻木） |
| 9月9日 | 「河内国府遺跡里帰り展」の会場下見のため、道明寺天満宮出張（P.D.森本） |
| 9月10日 | 第1回祭礼遺産研究例会 |
| 9月12日 | 大阪市中央卸売市場本場市場協会資料室へ『鷺池家文書』写真見積もり出張（P.D.森本／生活文化遺産研究プロジェクトR.A.宮元） |
| 9月14日 | 第1回P.D.・R.A.会議 |
| 9月21日 | 第2回P.D.・R.A.会議 |
| 9月24日 | 第1回NOCHSレクチャーシリーズ「なにわ・大阪の神社」 |
| 9月28日 | 第3回P.D.・R.A.会議 |
| 9月29日 | 牧村史陽氏旧蔵資料受付（祭礼遺産研究プロジェクトR.A.内海） |
| 10月～ | 牧村史陽氏寄贈ガラス乾板整理（祭礼遺産研究プロジェクトR.A.内海） |
| 10月1日 | 第1回生活文化遺産研究例会・第1回学芸遺産研究例会 |
| 10月5日 | 関西大学文学部授業「知へのパスポート」にて「大阪の夏祭り報告」報告（祭礼遺産研究プロジェクトR.A.内田） |
| 10月12日 | 第4回P.D.・R.A.会議 |
| 10月17日 | 八尾市植田家見学（P.D.森本） |
| 10月19日 | 第5回P.D.・R.A.会議 |
| 10月21日 | 「河内国府遺跡里帰り展」会場設営準備および展示物の搬出（P.D.森本／祭礼遺産研究プロジェクトR.A.内田・内海／生活文化遺産研究プロジェクトR.A.宮元・千葉／学芸遺産研究プロジェクトR.A.松本／歴史資料遺産研究プロジェクトR.A.櫻木） |
| 10月22日 | 地域連携企画第一弾「河内国府遺跡里帰り展」 |
| 10月23日 | 「河内国府遺跡里帰り展」展示物の撤収（生活文化遺産研究プロジェクトR.A.千葉太朗） |
| 10月24日 | 関西大学文学部日本史演習授業「一枚摺の魅力」（祭礼遺産研究プロジェクトR.A.内海） |
| 10月24日 | 大阪市中央卸売市場本場市場協会資料室へ『鷺池家文書』写真見積もり出張（P.D.森本／生活文化遺産研究プロジェクトR.A.宮元） |
| 10月26日 | 第6回P.D.・R.A.会議 |
| 11月上旬 | 牧村史陽氏写真展・展示キャプション作成（祭礼遺産研究プロジェクトR.A.内海／生活文化遺産研究プロジェクトR.A.宮元） |
| 11月12日 | 第2回文化遺産学フォーラム「大阪と沖縄の文化遺産」 |
| 11月1日 | 八尾市植田家調査（全体） |
| 11月9日 | 第7回P.D.・R.A.会議 |
| 11月12日 | 第2回合同例会 |
| 11月16日 | 第8回P.D.・R.A.会議 |
| 11月18日 | 大阪市中央卸売市場本場市場協会資料室へ『鷺池家文書』写真見積もり出張（P.D.森本／生活文化遺産研究プロジェクトR.A.宮元） |
| 11月26日 | 第1回歴史資料遺産研究例会 |
| 12月1日 | 『難波潟』No.2刊行 |
| 12月5日 | 関西大学文学部日本史演習授業「一枚摺の情報力—鬼洞文庫一枚摺を素材に—」（学芸遺産研究プロジェクトR.A.松本） |
| 12月13日 | 第2回レクチャーシリーズのため久保功氏宅打合わせ（P.D.森本） |
| 12月14日 | 第2回レクチャーシリーズのため森下正博氏と打合せ（P.D.森本） |
| 12月21日 | 第9回P.D.・R.A.会議 |

| | |
|--------|--|
| 12月21日 | 牧村史陽氏旧蔵ガラス乾板修復作業預け入れ（祭礼遺産研究プロジェクトR.A.内海） |
| 12月22日 | 八尾市・関西大学包括協定調印式：八尾市市長室 |
| 12月22日 | 第2回レクチャーシリーズチラシ配布：大阪市西成区生根神社（P.D.森本／祭礼遺産研究プロジェクトR.A.内海／生活文化遺産研究プロジェクトR.A.宮元） |
| 12月24日 | センター仕事納め |
| 1月11日 | 第10回P.D.・R.A.会議 |
| 1月28日 | 第2回レクチャーシリーズチラシ配布：大阪市東住吉区法楽寺（P.D.森本／生活文化遺産プロジェクトR.A.宮元正博） |
| 1月14日 | 第2回NOCHSレクチャーシリーズ「なにわ伝統野菜VS京野菜」 |
| 1月18日 | 大阪市中央卸売市場本場市場協会資料室・室長酒井亮介氏講演（P.D.森本／生活文化遺産プロジェクトR.A.宮元正博） |
| 1月21日 | 第2回祭礼遺産研究例会 |
| 1月28日 | 第2回生活文化遺産研究例会・第2回学芸遺産研究例会 |
| 2月27日 | 第2回歴史資料遺産研究例会 |

2月末現在

センター全体の活動報告

I. NOCHSレクチャーシリーズ

①第1回NOCHSレクチャーシリーズ

「なにわ・大阪の神社」

9月24日（土）参加者42名

於：関西大学尚文館502教室

真野 修三（明治安田生命「関西を考える会」）

「関西を考える会の活動と「大阪の神社」

近江 晴子（大阪天満宮文化研究所研究員）

「大阪三郷の氏神さんと夏祭り」

内田 吉哉（祭礼遺産研究プロジェクトR.A.）

「大阪の夏祭り調査報告」

今回は、祭礼遺産研究の一環として、大阪の寺社についての企業・神社の研究所・大学研究員それぞれの視点からの報告が行われた。大阪の寺社についての歴史的展開過程や現在の状況、地域のなかにおける寺社の役割などの意見を交換することができた。



講演会場

②第2回NOCHSレクチャーシリーズ

「なにわ伝統野菜VS京野菜—復興のなにわか伝統の京か—」

1月14日（土）参加者72名

於：関西大学図書館ホール（図書館3F）

森下 正博（大阪府立食とみどりの総合技術センター野菜園芸グループ長）

「なにわ伝統野菜のもつ今日的意義」

久保 功（野菜文化史研究センター所長）

「歴史文化野菜学からみた京野菜」

今回は、生活文化遺産研究の一環として「食文化」を取り上げ、とりわけ、われわれの身近な地域にあるなにわ伝統野菜と京野菜についての報告であった。なにわ伝統野菜の歴史的・文化的背景や生産・流通・消費あるいは復興・継承などを地域社会との繋がりから捉え、われわれが享受している「食文化」遺産について議論を展開することができた。



森下正博氏



久保功氏

II. 地域連携企画

河内国府遺跡里帰り展

10月22日（土）参加者251名

於：道明寺天満宮天寿殿

長谷 洋一（研究員）

「渡唐天神図について」

米田 文孝（研究員）

「河内国府遺跡の意義と遺物」

今回の企画は、地域社会に出かけてその地域に縁のある報告・展示を行うという試みの第一弾である。関西大学博物館に所蔵されていた珧状耳飾ほか「河内国府遺跡」の一部を、同遺跡にゆかりの深い藤井寺市道明寺天満宮にて展示・紹介をするという

企画であったが、多数の来場者があったので、貴重な文化遺産を多くの人々に紹介できる機会が設けられた。また、当日には、特別に「河内国府遺跡」展示会場を設け、研究員による説明がなされ、地元に残る遺産について理解を深めることができた。



講演会場の様子

Ⅲ. 文化遺産学フォーラム

第2回文化遺産学フォーラム

「大阪と沖縄の文化遺産」

11月12日（土）参加者59名

於：関西大学第一学舎（法文）第三会議室

本 中 眞（文化庁記念物課名勝部門主任調査官）

「日本の文化遺産と文化的景観の保存について」

高良 倉吉（琉球大学法文学部教授）

「沖縄の文化遺産と文化的景観の保存について」

高橋 隆博（なにわ・大阪文化遺産学

研究センター長）

「なにわ・大阪の文化遺産とその復興」

これは、2005年1月22日開催の第1回文化遺産学フォーラム「なにわ・大阪の文化遺産」に続くもので、大阪と大阪以外の地域における文化遺産を比較



フォーラム質疑応答

検討することによって、議論を深めようとする試みであった。大阪と沖縄双方の文化遺産の特徴と保存・活用の方法を議論するなかで、日本の文化遺産の多面的な姿、文化財保護行政の意義、文化遺産学の可能性などを確認することができた。また、講演会場には特設で牧村史陽氏旧蔵大阪の古写真の一部を展示し、来場者に紹介することができた。



八尾市植田家にて書籍調査



八尾市との包括協定締結

Ⅳ. 調査・研究

①八尾市植田家調査

主に、生活文化遺産研究プロジェクトが河内木綿および民具の調査を、学芸遺産研究プロジェクトが書籍の調査を随時おこなった。12月22日（木）には、八尾市・関西大学包括協定調印式という形で結実している。今後、八尾市と協調し、ともに研究成果を地域へ還元していくことが重要である。

②NOCHSメール配信

各プロジェクトの研究員が、それぞれ現在の調

査・研究状況を伝えるために執筆し、月に3回ほど
研究員や関係者に配信している。

③関西大学文学部出張授業

なにわ・大阪文化遺産学研究センターの調査・研
究成果を学生に伝えるため、2005年度は、センター
研究員3名が文学部へ出張授業をおこなった。

<出張事業日程>

10月5日(水) 内田 吉哉

(祭礼遺産研究プロジェクトR.A.)

「大阪の夏祭り調査報告」

10月24日(月) 内海 寧子

(祭礼遺産研究プロジェクトR.A.)

「一枚摺の魅力」

12月5日(月) 松本 望

(学芸遺産研究プロジェクトR.A.)

「一枚摺の情報力」

—鬼洞文庫一枚摺を素材に—

④牧村史陽氏旧蔵資料調査

9月29日(木)に、大阪の古写真ほか牧村史陽氏
旧蔵資料がなにわ・大阪文化遺産学研究センターへ
寄託された。寄託後、現在までは、内海寧子(祭礼
遺産研究プロジェクトR.A.)によって整理作業がお
こなわれている。12月21日(水)にガラス乾板修復
作業を堀内カラーに依頼した。

また、蔵書の整理については、松本望(学芸遺産
研究プロジェクトR.A.)が担当した。

V. 出版物

①『難波潟』

なにわ・大阪文化遺産学研究センターの調査・研

究状況を地域の人々に伝えるため、年に3回程度の
刊行を目指している。定期的におこなわれる各プロ
ジェクトの研究例会をはじめ、NOCHSレクチャー
シリーズ・文化遺産学フォーラム・地域連携企画な
どの情報を速報的に掲載している。2005年度は、8
月1日に第1号、12月1日に第2号を刊行した。今
後は、当日の報告だけでなく、研究員が調査したこ
とや、調査先で出会った方がたの話などを掲載し、
内容豊富なものを提供していく予定である。

②Occasional paper (オケーショナル・ペーパー)

NOCHSレクチャーシリーズや地域連携企画など
の記録を小冊子にして編集・刊行したものである。
『難波潟』とは異なり、詳細な講演内容に加え、写
真や資料も掲載している。2005年度は、第1号「第
1回NOCHSレクチャーシリーズ「なにわ・大阪の
神社」(祭礼遺産研究プロジェクトR.A.内田吉哉担
当)を12月31日に刊行し、さらに、第2号として、
地域連携企画第一弾「河内国府遺跡里帰り展」(生
活文化遺産研究プロジェクトR.A.千葉太郎担当)の
刊行が予定されている。



『難波潟』

各プロジェクトの活動報告

祭礼遺産研究プロジェクト活動一覧

| 月 日 | 活 動 内 容 |
|-----------------|--|
| 6月30日 | 夏祭り調査 愛染まつり (勝鬘院愛染堂) |
| 7月1日~31日 | 夏祭りカレンダー作成 |
| 7月2日 | 夏祭り調査 献牛祭 (石切劔箭神社) |
| 7月7日 | 夏祭り調査 採燈大護摩供 (瀧安寺)、蓮華祭 (転法輪寺・葛木神社)、七夕祭 (安倍晴明神社)、七夕祭 (機物神社)、七夕祭 (小松神社)、星合七夕祭り (大阪天満宮) |
| 7月12日 | 夏祭り調査 いくたま夏祭 (生國魂神社) |
| 7月14日 | 夏祭り調査 平野郷の夏祭り (杭全神社) |
| 7月15日 | 夏祭り調査 夏祭り (玉造稻荷神社) |
| 7月18日 | 夏祭り調査 高津宮夏祭 (高津神社) |
| 7月21日 | 夏祭り調査 坐摩神社夏季大祭 (坐摩神社)、陶器祭・大阪せともの祭り (陶器神社)、氷室祭 (難波神社) |
| 7月24日 | 夏祭り調査 天神祭鉦流神事 (大阪天満宮)、だいがく祭 (生根神社) |
| 7月31日 | 夏祭り調査 住吉祭 茅の輪くぐり (住吉大社) |
| 8月1日 | 夏祭り調査 住吉祭 神輿渡御 (住吉大社) |
| 8月4日 | 箏の舞楽見学 (四天王寺) |
| 8月8日 | 八尾市植田家 事前調査 |
| 8月13日 | 三重県桑名市長島町独楽園調査 (R.A.内田) |
| 9月1日~30日 | 大阪の祭礼リスト作成 |
| 9月10日 | 第1回研究例会 |
| 9月24日 | 第1回NOCHSレクチャーシリーズ「なにわ・大阪の神社」開催 |
| 10月1日 | 祭礼調査 善根寺春日神社 神酒づくり |
| 10月10日 | 個人蔵引札調査 (R.A.内海/学芸遺産研究プロジェクトR.A.松本) |
| 10月14日 | 津田秀夫文庫神社調査資料 事前調査 (大阪市史編纂所) |
| 10月16日~17日 | 祭礼調査 どんじ祭 (吉志部神社) |
| 10月23日 | 祭礼調査 神田祭 (八坂神社) |
| 10月30日 | 大坂歌舞伎展シンポジウム聴講 大阪歴史博物館 (R.A.内海/学芸遺産研究プロジェクトR.A.松本) |
| 10月31日 | 津田秀夫文庫神社調査資料借用 (大阪市史編纂所) |
| 11月1日 | 八尾市植田家調査 予備調査 |
| 11月12日 | 研究員ミーティング |
| 11月18日 | 大阪府神社合祀勉強会 |
| 11月22日 | 八尾市植田家調査 (R.A.内海・学芸遺産研究プロジェクトに同行) |
| 11月24日~25日 | 国立歴史民俗博物館・芭蕉記念館出張 (R.A.内海) |
| 11月29日 | 八尾市植田家調査 (R.A.内海・学芸遺産研究プロジェクトに同行) |
| 12月1日 | 大阪府神社合祀資料新聞記事調査開始 (関西大学総合図書館) |
| 12月7日 | 道明寺天満宮 予備調査 |
| 12月8日 | 八尾市植田家調査 (藤井裕之/R.A.内田/生活文化遺産研究プロジェクトに同行) |
| 12月13日 | 津田秀夫文庫神社調査資料 マイクロフィルム撮影 |
| 12月14日 | 祭礼調査 義士祭 (吉祥寺) |
| 12月21日 | NOCHS Occasional Paper No.1 『なにわ・大阪の神社』 発行 |
| 12月22日 | 祭礼調査 こつま南瓜まつり (生根神社) |
| 1月7日~8日 | 九州国立博物館出張 (R.A.内田) |
| 1月21日 | 第2回研究例会 |
| 1月30日 | 大阪市史編纂所 津田秀夫文庫神社調査資料 返却 |
| 2月14日~ 2月28日 | 津田秀夫文庫神社調査資料翻刻作業 |

2月末現在

祭礼遺産研究プロジェクト

I. 研究例会

①第1回例会 9月10日(土) 参加者21名

於：関西大学博物館実習室

黒田 一充(研究員)

「大阪の夏祭り調査報告」

6月末より開始した大阪の夏祭り実態調査に基づき、報告をおこなった。夏祭り18例について調査時に撮影した映像を提示しながら解説を加え、さらに大阪の夏祭りについて特徴を述べた。



②第2回例会 1月21日(土) 参加者17名

於：関西大学博物館実習室

市川 秀之(研究員)

「近世の民俗に対する知識人の関与

—河南町平石の祭礼を題材に—」

平石における磐船伝承の変遷や平岩城伝承形成の背景に、在地有力者・平岩吉房の関与や国学の影響がみられること、平岩家と名所図会作家・秋里籬島との接点が『河内名所図会』の記述から読み取れることを述べた。さらに、近年までおこなわれていた祭礼の形成に、高貴寺に住んだ慈雲の関与がみられると説明し、平石の民俗に近世知識人が大きく関与していると指摘した。



II. NOCHSレクチャーシリーズ

①第1回NOCHSレクチャーシリーズ

「なにわ・大阪の神社」

9月24日(土) 参加者42名

於：関西大学尚文館502教室

真野 修三氏(明治安田生命「関西を考える会」)

「関西を考える会の活動と「大阪の神社」

近江 晴子(大阪天満宮文化研究所研究員)

「大坂三郷の氏神さんと夏祭り」

内田 吉哉(R.A.)

「大阪の夏祭り調査報告」

9月24日に公開講座として第1回レクチャーシリーズ「なにわ・大阪の神社」を開催した。真野氏の講演は、大阪の神社についての識者の意見を紹介し、さらにこれからの寺社との関わり方はどうあるべきかという問題について提唱するものであった。また、近江氏は大田南畝の随筆や『撰津名所図会』などを史料として用いながら、大坂三郷の氏神とその祭礼について講演をおこなった。あわせて、リサーチアシスタントの内田が、祭礼遺産研究プロジェクトの活動報告として、大阪の夏祭りの調査報告をおこなった。



III. 調査・研究

①夏祭り調査 6月30日～8月1日

大阪ブランドコミッティとの提携に基づき、「夏祭りカレンダー」作成のための基礎データの収集を目的として、6月末から8月初頭にかけて大阪の夏祭りの調査をおこなった。黒田一充が中心となり、大学院生を調査員としてアルバイト雇用して、大阪府下の夏祭り18例を調査した。

②その他の祭り調査

東大阪市善根寺春日神社の神酒造り調査、吹田市吉志部神社のどんじ祭、^{のぼり}幟の宮入りが特徴である池田市八坂神社の神田祭、さらに、赤穂浅野家の菩提寺であった大阪市吉祥寺の義士祭、冬至に中風除けとして勝間南瓜が振舞われる大阪市生根神社のこつま南瓜まつりなど、今後の祭礼調査の指針を探る目的で秋祭りや法要について調査をおこなった。調査には、大学院生の協力を得た。



吹田市吉志部神社・どんじ祭



池田市八坂神社・神田祭

③大阪府下の神社祭礼リスト作成

今後の祭礼調査の準備作業として大阪府下の神社でおこなわれているすべての祭りの日程を把握するために、大阪府神道青年会編『大阪の祭り』（大阪府神道青年会、1980年）をもとに大阪府下の神社祭

礼リストを作成した。リストアップした祭礼は総数約4800件にのぼるが、表計算ソフトの検索機能を利用することによって、日時、祭礼名、神社名、神社所在地の項目ごとに情報を探し出すことが容易になった。ただし、参考資料とした『大阪の祭り』が出版されてから25年が経過し、収録された情報と現況との間にかなりの差異があるため、漸次修正を加える必要がある。

④大阪市史編纂所津田秀夫文庫所蔵・神社調査資料

故津田秀夫氏（関西大学名誉教授）の蔵書および収集文書は、大阪市史編纂所に蔵書類が、関西大学文学部古文書室に古文書・和書類が分割されて所蔵にいたっている。この度、大阪市史編纂所所長堀田暁生氏の御好意で、津田秀夫文庫の神社調査資料を閲覧・借用させていただく機会を得た。資料は昭和前期大阪府下と兵庫県下の神社に関する調査報告であり、その解読によって当時の祭りの様子や祭祀組織の把握が期待される。マイクロフィルム化し、大学院生のアルバイトを雇用して翻刻・調査作業を進める予定である。

⑤大阪府神社合祀調査

明治末期におこなわれた神社合祀の、大阪府下における実態を解明するために、新聞記事の悉皆調査をおこなった。大谷渡（研究員）が中心となり、11月中旬から大学院生を調査員としてアルバイト雇用し、調査を開始した。次年度も継続して調査をおこなう予定である。

Ⅳ. その他

①八尾市植田家調査

本プロジェクトとしては8月8日に事前調査、11月1日に予備調査をおこなった。また、生活遺産研究プロジェクトが実施している民具の調査に藤井裕之（研究員）、リサーチアシスタントの内田が参加し、学芸遺産研究プロジェクトが中心となって実施している書籍調査にリサーチアシスタントの内海が参加している。それぞれの調査の詳細は生活文化遺産研究プロジェクト、および学芸遺産研究プロジェクトの活動報告に譲る。

生活文化遺産研究プロジェクト活動一覧

| 月 日 | 活 動 内 容 |
|-----------|---|
| 7月5日 | 河内国府遺跡検討会 |
| 7月11日～13日 | Trimble R8 Nikon FieldStation 機器説明・トレーニング |
| 8月8日 | 八尾市植田家事前調査 |
| 8月22日～24日 | レーザースキャニングシステムLeica HDS-3000 機器説明・トレーニング |
| 9月13日 | 生活文化遺産学研究プロジェクトミーティング |
| 9月20日 | 大阪市中央卸売市場本場市場協会資料室にて打ち合わせ |
| 10月1日 | 第1回生活文化遺産研究プロジェクト研究例会・ミーティング |
| 10月22日 | 「河内国府遺跡里帰り展」開催 |
| 10月25日 | 大阪天満宮流鏝馬神事見学 |
| 11月1日 | 八尾市植田家調査・ミーティング |
| 11月9日 | 月例会議でHDS-3000の説明会を行う |
| 11月12日 | 「第2回文化遺産学フォーラム 大阪と沖縄の文化遺産」開催・研究員ミーティング |
| 11月18日 | 大阪市中央卸売市場本場市場協会資料室にて資料撮影見積もり |
| 11月22日 | 大阪錫器株式会社にて錫器調査 |
| 11月29日 | 八尾市植田家河内木綿及び什器類の調査 |
| 12月5日～10日 | 道明寺天満宮境内スキャニング調査 |
| 12月8日 | 八尾市植田家家具調査（道明寺天満宮境内スキャニング調査の為、祭礼文化遺産プロジェクトR.A.内田が代行） |
| 12月10日 | 株式会社大阪錫器にて錫器の実測調査 |
| 12月13日 | 野菜文化史研究センターにて久保氏とレクチャーシリーズの打ち合わせ |
| 12月14日 | 大阪府立食とみどりの総合技術センターにて森下氏とレクチャーシリーズの打ち合わせ |
| 12月20日 | 八尾市植田家河内木綿調査 |
| 12月22日 | 生根神社 こつま南瓜祭り見学・レクチャーシリーズのチラシ配布 |
| 12月28日 | 法楽寺 しまい不動尊見学・レクチャーシリーズのチラシ配布 |
| 11月21日 | 四天王寺 にぎわい調査 |
| 11月27日 | 清荒神 にぎわい調査 |
| 12月21日 | 四天王寺 にぎわい調査 |
| 12月28日 | 清荒神 にぎわい調査 |
| 12月29日 | 石切神社 にぎわい調査 |
| 12月31日 | 石切神社、道明寺天満宮 にぎわい調査 |
| 1月1日 | 清荒神、中山観音にぎわい調査 |
| 1月3日 | 西宮神社、大阪天満宮にぎわい調査 |
| 1月14日 | 第2回NOCHSレクチャーシリーズ 「なにわ伝統野菜V.S.京野菜―復興のなにわか伝統の京か―」開催 |
| 1月18日 | 三菱市場活性化セミナー（於大阪市中央卸売市場）参加 |
| 1月23日～26日 | 沖縄文化遺産調査・インタビュー |
| 1月28日 | 第2回生活文化遺産研究プロジェクト研究例会 |
| 1月30日 | 関西大学文学部連続講演会【再発見！大阪】～第5回『なにわ・大阪の文化遺産』～ （於りそな銀行大阪本社講堂）にて「牧村史陽旧蔵大阪の古写真」を展示 |
| 1月31日 | 八尾植田家河内木綿調査 |
| 2月3日 | 大阪錫器株式会社にて錫器の鑄込技術の調査 |
| 2月15日～16日 | 鹿児島出張（有限会社岩切美巧堂、尚古集成館、鹿児島県歴史資料センター黎明館） |
| 2月20日～21日 | 大阪市中央卸売市場本場市場協会資料室所蔵・鷺池家文書撮影 |

2月末現在

生活文化遺産研究プロジェクト

I. 研究例会

①第1回例会 10月1日(土) 参加者41名

於：関西大学博物館実習室

酒井 亮介(研究員)

「なにわ・大阪の食文化 序説」



第1回研究例会は、「なにわ・大阪の食文化 序説」という題で、酒井が報告を行った。

今回は序説であったため、あえてテーマを絞らず、食文化研究の下地となる部分を取り上げた。日本列島の自然環境が食に与えた影響、特に複雑な海流が日本近海で獲れる魚の種類を豊富にしている点など、なにわ・大阪の食をとりまく生産、流通、消費について、さまざまな角度からの考察がなされており、興味深い報告となった。

②第2回研究例会 1月28日(土) 参加者42名

於：関西大学博物館実習室

千葉 太郎(R.A.)・宮元 正博(R.A.)

「道明寺天満宮 3Dスキャニング調査報告」

12月10日から16日にかけて道明寺天満宮(藤井寺市)の境内で行った、レーザースキャニングシステム(Leica製 HDS-3000)を用いたスキャニング調査の概要を報告した。

この調査で、レーザースキャニングシステムを用いた調査には綿密な事前調査が重要であること、バッテリー駆動では1日の調査時間が短くなるために調査期間が長くなることなどの課題が明らかになった。

妻木 宣嗣(研究員)

「寺社境内とその周辺における「にぎわい」空間について」



社寺を信仰の面から捉えるのではなく、祭礼や縁日などの空間が持つアミューズメント性と、人のふるまいが周辺環境に規定されている(アフォ

ードされている)点に着目し、「にぎわい」を演出するためのどのような工夫があるか、また、「にぎわい」の要素にはどのようなものがあるのかという点について報告がなされた。

事例として、道明寺天満宮や石切神社、清荒神などでの調査報告が行われた。

II. 第2回NOCHSレクチャーシリーズ

「なにわ伝統野菜 V.S. 京野菜」

1月14日(土) 参加者72名

於：関西大学図書館ホール

森下 正博氏(大阪府立食とみどりの総合技術センター野菜園芸グループ長)

「なにわ伝統野菜のもつ今日的意義」

久保 功氏(野菜文化史研究センター所長)

「歴史野菜文化学から見た京野菜」



1月14日に行われた第2回NOCHSレクチャーシリーズでは、なにわ伝統野菜と京野菜を取りあげ、それぞれの野菜の持つ歴史的背景や、それらを継承していくことの意義などが議論された。

準備段階では、なにわ伝統野菜関連イベント会場でのチラシ配布を行ったり、吹田市内には新聞折り込み広告を入れたりするなど、従来なかった広報活動を試みた。



III. 河内国府遺跡里帰り展

10月22日、道明寺天満宮天寿殿において地域連携企画第1弾「河内国府遺跡里帰り展」が開催された。それに先立って、本プロジェクトが展示品の選定、展示計画、図録の作成を担当した。21日に展示品の搬出及び展示の準備を行なった。22日は展示にあわせて講演会も開催された。講演は長谷洋一(研究員)が「渡唐天神図について」と題して、さらに米田文孝(プロジェクトリーダー)が「河





内国府遺跡の意義と遺物」と題して行なわれた。また、当日、国府遺跡出土品に関して千葉(R.A.)が、渡唐天神図に関して南坊城光興氏

(道明寺天満宮禰宜)が展示解説を行なった。そして24日に展示品の撤収を行なった。

展示を行なうに当たって、関西大学博物館学芸員山口卓也氏、渋谷綾子氏、内野花氏にはご指導・ご助言およびご協力をいただいた。

Ⅳ. 調査・研究

①植田家民具調査(継続中)



八尾市立歴史民俗資料館学芸員の李熙連伊氏とともに、植田家(大阪府八尾市)に現存する木綿製品の調書を作成した。生産時期を特定するため

に、特に重要であると思われる資料(主として手紡ぎで生産された木綿製品)については、マイクروسコープ(Keyence製VHX-200)を用いた繊維の調査を検討中である。

また、同家に現存する什器類、木綿製品以外の布製品などの民具の調書も作成中で、これには吹田市立博物館の藤井氏(祭礼遺産研究プロジェクト研究員)の協力を仰いだ。

②道明寺天満宮境内スキヤニング調査



12月5日から10日にかけて道明寺天満宮(藤井寺市)において、レーザースキヤニングシステム(Leica製HDS-3000)を用いた境内スキヤニング調査を行った。

今回は初詣の際に屋台の並ぶ参道を中心に、境内全域についてスキヤニングを実施した。この調査で、レーザースキヤニングシステムを用いた調査には綿密な事前調査が重要であること、バッテリー駆動では1日の調査時間が短くなる(バッテリー2本で6時間程度)ため、予想以上に

調査期間が長くなること、屋外にターゲットを設置した場合、駐車車両などによりターゲットが隠れてしまうことがあるなど、様々な課題が明らかになった。

③にぎわい調査(継続中)



11月から1月にかけて、寺社空間における「にぎわい」調査を行った。今回調査した社寺は、石切神社、大阪天満宮、清荒神、四天王寺、

道明寺天満宮、中山寺、西宮神社である。調査は主として、①各寺社空間に立地する店舗を配置図上にプロット、②寺社空間にどのような「にぎわい」空間構成が埋め込まれているのかについての予備調査、以上を行った。また寺社空間以外にも天神橋筋商店街、千林商店街、心齋橋筋商店街、三宮センター街について同様の調査を行い、空間にどのような「にぎわい」演出が隠されているのか、構成要素の抽出のための予備調査を行った。

④錫器調査(継続中)

大阪に地場を持つ伝統工芸の中から錫製品を取り上げ、その製作工程を調査した。調査に協力していただいたのは株式会社大阪錫器(大阪市東住



吉区)で、2005年12月~2006年1月にかけて数回の調査を行った。伝統工芸士に認定されている今井達昌氏をはじめとした職人の方々の鑄込作業、ロクロ



を使った鉋削り作業、絵付作業を見せていただき、鑄型の実測調査も行った。

他地域と比較するために取り上げたのは薩摩錫器の有限会社岩切美巧堂(鹿児島県霧島市)で、2月に行った調査では、技術的な差異を中心とした聞き取り調査を行った。

学芸遺産研究プロジェクト活動一覧

| 月 日 | 活 動 内 容 |
|--------------------|---|
| 7月6日 | ・鬼洞文庫一枚摺調査 開始 ・大阪府立中之島図書館編『大坂本屋仲間記録』索引作成作業 開始 ・『代官竹垣直道日記』入力・索引作成作業 開始 |
| 7月14日 | 展示会「近代大阪の耀き ―古書肆・鹿田松雲堂と大阪の雅人文人たち―」 見学（大阪府立中之島図書館） |
| 7月30日 | 講演会「近代大阪の耀き ―古書肆・鹿田松雲堂と大阪の雅人文人たち―」 聴講（大阪府立中之島図書館） |
| 8月8日 | 八尾市植田家 事前調査 |
| 8月11日～13日 | 中之島図書館百周年記念古典講座 聴講（大阪府立中之島図書館） |
| 8月13日 | 三重県桑名市 独楽園調査（祭礼遺産研究プロジェクトR.A.内田） |
| 8月26日～ 9月2日 | 鬼洞文庫一枚摺調査・第1回集中調査 |
| 9月5日～6日 | 関西大学図書館蔵上方役者絵調査（北川博子） |
| 9月7日 | 三重県桑名市長島城址・大智院・輪中の郷 出張（藤田） |
| 9月12日～15日 | 鬼洞文庫一枚摺調査・第2回集中調査 |
| 10月1日 | 第1回研究例会 |
| 10月10日 | 個人蔵引札調査（松本・祭礼遺産研究プロジェクトR.A.内海） |
| 10月14日 | 大阪天満宮御文庫曝書作業見学（大阪天満宮） |
| 10月15日～16日 | 佐賀県立図書館・多久聖堂積業 出張（藪田） |
| 10月30日 | 大坂歌舞伎展シンポジウム聴講（大阪歴史博物館）（松本・祭礼遺産研究プロジェクトR.A.内海） |
| 11月1日、22日、 29日 | 八尾市植田家 書籍調査（松本・祭礼遺産研究プロジェクトR.A.内海） |
| 11月12日 | 研究員ミーティング |
| 12月9日 | 道明寺天満宮スキヤニング調査（松本・生活文化遺産研究プロジェクトに同行） |
| 12月15日、16日、 22日 | 関西大学図書館蔵上方役者絵撮影作業 |
| 12月18日 | 公開シンポジウム「堺学から堺・南大阪地域学へ ―南大阪地域の文化基盤―」 聴講（大阪府立大学大仙キャンパス70周年記念ホール） |
| 12月19日～20日 | 鹿児島県枕崎市立図書館 出張（山本） |
| 12月22日 | 『長島侯増山雪斎独楽園賀詞帖』撮影作業 |
| 1月19日～20日 | 東京都早稲田大学演劇博物館 出張（北川） |
| 1月28日 | 第2回研究例会 |
| 2月22日～24日 | 大分県日田市咸宜園・広瀬資料館等 出張（松本） |

2月末現在

学芸遺産研究プロジェクト

I. 研究例会

①第1回例会 10月1日(土) 参加者31名

於：関西大学博物館実習室

島津忠夫氏(大阪大学名誉教授)

「大阪天満宮御文庫のこと

―連歌書を中心に―」

報告は、天満宮御文庫の全体像の説明、『大阪天満宮御文庫和漢書目録』『大阪天満宮文庫連歌書目録』などの製作過程、天満宮の神主家・社家の説明、17世紀半ば連歌所の宗匠となった西山宗因および西山家の事績など、多岐にわたった。

特に、御文庫に収蔵されている連歌書については、御文庫への伝来過程によって、(1)西山家伝来書(2)滋岡庫旧蔵連歌写本(3)滋岡長松(長昌)筆連歌写本古本(4)岡延宗献上本(5)その他 の5つに分類されることや、西山家代々の宗匠が残した連歌書について、詳細に説明された。

質疑応答では、神主家と社家の関係や、寛政から文化・文政期神主だった滋岡長昌の大坂の文人との関わりなどの質問が出された。



②第2回例会 1月28日(土) 参加者42名

於：関西大学博物館実習室

松本 望(R.A.)

「鬼洞文庫一枚摺調査の経過報告と今後の展望」

北川博子(研究員)

「関西大学図書館蔵『上方芝居絵帖」

・『一養亭芳瀧筆画帖』について」

松本報告について。鬼洞文庫一枚摺の概要と、夏期に調査した商品切手と引札について、特徴と調査要領を詳細に報告した。特徴として正月引札と活字

印刷された堺の引札が多いことを挙げ、それぞれの今後の研究の可能性について示唆した。

北川報告について。上方役者絵の歴史と研究史を踏まえ、関西大学図書館に所蔵されている『上方芝居絵帖』、『春江斎北英(しゅんこうさいほくえい)画上方芝居絵』、『一養亭芳瀧筆画帖(いちようていよしたきひつがちょう)』の3点について詳細に解説した。



II. NOCHSレクチャーシリーズ

今年度は、当プロジェクトの企画によるレクチャーシリーズは行わなかった。来年度開催の予定である。

III. 調査・研究

①鬼洞文庫一枚摺調査

まず全体像の把握を行った。点数は約850点、関西大学図書館により、日本十進分類法による分類がなされている。詳細については、『難波渦』No.1で述べている。その後順次調査を作成した。

第1回・第2回集中調査においては、まとめて収蔵されていた商品切手と引札について調査を行った。現在も調査は継続中である。

調査の成果と今後の展望については、第2回学芸遺産研究例会で公表した。

②大阪府立中之島図書館編『大坂本屋仲間記録』

(第1巻～第18巻) 索引作成作業

全18巻のうち、第1巻(「出勤帳 一」)と第2巻(「出勤帳 二」)より作業を開始した。書名索引と書肆名索引を作成中である。

③『代官竹垣直道日記』入力・索引作成作業

『代官竹垣直道日記』は、天保期～嘉永期大坂代官であった竹垣新右衛門直道が記した日記である。冊数は47冊で、天保11年から文久3年に及ぶ。日記には、検見・巡見などの代官の職務に関する公的な事柄だけでなく、読書、詠歌、寺社参詣などの私的な事柄も記されている。

当資料は、大学院の近世史ゼミで長年講読してきた資料であり、今年度より本文入力と索引作成作業に着手した。

現在天保12年、13年の日記から作業を開始しており、2006年度に『なにわ・大阪文化遺産叢書2』で発行予定である。

④『長島侯増山雪斎独楽園賀詞帖』調査・撮影

8月13日に、R.A.内田吉哉、9月7日に藤田真一が、三重県桑名市の長島城跡等で出張調査を行った。また12月22日にはR.A.松本が当資料を撮影した。現在有坂道子が資料の内容について詳細に調査を行っている。来年度公開予定である。

※資料の概要については「新収資料紹介」参照。

⑤関西大学図書館蔵上方役者絵調査・撮影作業

9月5日～6日、北川博子が関西大学図書館に所蔵されている上方役者絵を閲覧・調査した。北川が閲覧・調査した資料は、『許多脚色帖(あまたきゃくしょくちょう)』、『一養亭芳瀧筆画帖』、『上方画稿画帖』、『上方芝居絵帖』、『春江斎北英画上方芝居絵』、『東海道四ツ谷怪談下絵帖』の6点である。

このうち『一養亭芳瀧筆画帖』『上方芝居絵帖』、『春江斎北英画上方芝居絵』の3点につき、R.A.松本が写真撮影した。

成果については、第2回学芸遺産研究例会で公表し、『なにわ・大阪文化遺産叢書1』として図録を

出版予定である。

⑥八尾市植田家 書籍調査

11月1日、22日、29日の3回にわたって、植田家に所蔵されている書籍について調査を行った。今回は土蔵の書棚全点と母屋の書棚2点について調査した。

まず所蔵状態の現状把握作業として、土蔵全体と書棚の見取り図の作成と写真撮影を行った。その後、書籍を土蔵から搬出し曝書した後、外題と冊数のみ摘記し、仮目録を作成した。並行して書棚の調査を行い、法量と状態の記録、写真撮影を行った。

上記の調査により、書棚は16点(土蔵左部分：6点、土蔵右部分：8点、母屋：2点)、書籍は635点1419冊あることが判明した。

今後の展望としては、今回仮目録の作成まで行った書籍の詳細な書誌調査と、母屋の2階部分に所蔵されている書籍の調査を行いたい。



八尾市植田家調査

歴史資料遺産研究プロジェクト活動一覧

| 月 日 | 活 動 内 容 |
|----------------|--|
| 8月1日～2日 | 高野山大学図書館出張史料調査（プロジェクトリーダー西本昌弘・R.A.櫻木潤） |
| 8月4日 | 箒の舞楽見学（四天王寺） |
| 8月8日 | 八尾市植田家事前調査 |
| 10月26日 | 関西大学博物館所蔵本山コレクション拓本調査（調書の作成） |
| 10月28日 | 〃 |
| 10月31日 | 〃 |
| 11月1日～2日 | 高野山大学図書館出張史料調査（西本・櫻木） |
| 11月12日 | 研究員ミーティング |
| 11月14日～19日 | 関西大学博物館所蔵本山コレクション拓本調査（調書の作成） |
| 11月26日 | 第1回研究例会 研究員ミーティング |
| 12月7日 | 道明寺天満宮出張史料調査（原田正俊・櫻木 祭礼遺産研究プロジェクトと合同） |
| 12月13日～14日 | 関西大学博物館所蔵本山コレクション拓本調査（『大日本金石史』との照合など） |
| 12月20日 | 〃 |
| 1月27日 | 関西大学博物館所蔵本山コレクション拓本調査（目録の打ち込み） |
| 1月30日 | 〃 |
| 1月31日～ 2月1日 | 東京出張史料調査（西本・櫻木） |
| 2月9日～12日 | 広島県立博物館・淡路文化史料館出張（明尾圭造） |
| 2月27日 | 第2回研究例会 |

2月末現在

歴史資料遺産研究プロジェクト

I. 研究例会

- ①第1回例会 11月26日(土) 参加者20名
於：関西大学人権問題研究所合同研究室
櫻木 潤 (R.A.)

「なにわ・大阪の歴史資料調査
～歴史資料遺産班の第一歩として～」

第1回例会では、これまでの歴史資料遺産研究班の研究活動について報告した。報告後は、フロアから、本山コレクション拓本類について、現地調査の必要性や、木崎愛吉による拓本収集の思想的背景を考察する必要があるといった指摘があった。また、大阪府下の市町村史による基礎的所在調査も必要であるといった意見がだされた。



- ②第2回例会 2月27日(月) 参加者12名
於：関西大学博物館実習室
古代難波津論
若井 敏明

「古代の難波津—その位置論を中心に—」
西本 昌弘 (研究員)
「平安時代の難波津」

第2回研究例会では、「古代難波津論」をテーマとした。若井氏の報告は、難波津の位置について、現在有力な高麗橋説に対し、三津寺町説を論じた。また、西本のコメントでは、少なくとも平安前期までは難波津が盛んに利用されていることが指摘された。古代難波津に関する研究は、史料の発掘を含めて、今後取り組むべき多くの課題が残されていることが認識された。



II. NOCHSレクチャーシリーズ

今年度は、歴史資料遺産研究プロジェクトの企画によるレクチャーシリーズは行わなかった。来年度開催の予定である。

III. 調査・研究

歴史資料遺産研究プロジェクトでは、初年度である今年度は、なにわ・大阪に関する歴史資料がどのような寺社や所蔵機関に伝存しているのかを把握することを主な活動とした。そのために、調査計画として、①基礎的所在調査、②関西大学所蔵資料の調査、③出張調査の三項目をたて、そのそれぞれについて進めてきた。

①基礎的所在調査

『東京大学史料編纂所報』の「採訪調査報告」・「史料採訪」にもとづいて、大阪府下にある歴史資料を所蔵する機関を抽出した。主な所蔵機関として、松尾寺(和泉市)、金剛寺(河内長野市)、武田科学振興財団杏雨書屋、大阪府立中之島図書館(以上、大阪市)が挙げられる。また、国宝・重要文化財を所有する機関には、他の貴重な歴史資料を所蔵する可能性が高いと考えられるので、『国宝・重要文化財大全』(文化庁監修、毎日新聞社、2000年)によって、大阪府内の国宝・重要文化財を所蔵する機関について抽出した。主に、四天王寺、住吉大社、藤田美術館、逸翁美術館(以上、大阪市)、道明寺、道明寺天満宮(以上、藤井寺市)、観心寺(河内長野市)、叡福寺(太子町)がある。

また、大阪府内だけではなく、東寺観智院(京都府)、高野山大学図書館(和歌山県)などにも大阪に関する歴史資料が所蔵されていることを見出した。

②関西大学所蔵資料の調査

(1) 本山コレクション「日本の部」拓本

関西大学博物館には、元毎日新聞社社長本山彦一氏が収集した考古資料・歴史資料である「本山コレクション」が所蔵される。そのうちの約2000点が、日本・中国・韓国などの金石文拓本である。この拓本は、『大日本金石史』に代表される木崎愛吉氏の金石文研究のもとになった資料である。今年度は、本山コレクションの「日本の部」拓本のうち、表装されている126点について、10月下旬、11月中旬、12月中旬、1月中旬に整理と目録の作成を行った。くわしい内容については、「関西大学博物館所蔵本山コレクション「日本の部」拓本目録」を参照（7～39頁）。

(2) 総合図書館所蔵岩崎美隆文庫本

関西大学総合図書館には、河内国河内郡花園村の庄屋岩崎美隆氏（1804～1847）自筆の研究覚書、歌集、考証、筆写などである「岩崎美隆文庫本」や、「近江国大国郷長解」や織田信長など戦国大名の書簡が所蔵されている。総合図書館に所蔵されているこれらの歴史資料は、個々の資料についての研究はいくつか行われているが、基礎的な調査はほとんど行われていない。来年度、これらの史料についての調査を行う予定である。

③出張調査

(1) 高野山大学図書館

8月1日(月)～2日(火)

11月1日(火)～2日(水)

(2) (財)石川文化事業財団お茶の水図書館

(財)東洋文庫

1月31日(火)～2月1日(水)

①基礎的所在調査で抽出した大阪に関する歴史資料を所蔵する機関のうち、上記の三機関について、プロジェクトリーダーの西本昌弘とR.A.の櫻木潤が出張し、調査を行った。それぞれの調査において、古代難波に関する興味ある記事を有する史料や中世から近世にかけての大阪の真言宗寺院や僧侶の動向を知る手がかりとなる史料を見出した。高野山大学図書館所蔵の史料で重要と思われるものは、紙焼写真を購入した。

また、東寺観智院金剛藏聖教の史料について、当初、出張調査を計画していたが、今年度は、北河内

の寺社に関する史料の紙焼写真を購入することとした。

④その他

(1) 四天王寺「箒の舞楽」見学

8月4日(木)

(2) 植田家事前調査

8月8日(月)

(3) 道明寺天満宮所蔵史料の調査

12月7日(水)

祭礼遺産研究プロジェクトと合同で、藤井寺市の道明寺天満宮において同宮所蔵史料の調査を行った。調査参加者は、研究員の大谷渡（祭礼遺産研究プロジェクト）・小谷利明（生活文化遺産研究プロジェクト）・原田正俊（歴史資料遺産研究プロジェクト）・R.A.の内田吉哉（祭礼遺産研究プロジェクト）・櫻木、調査アルバイトとして大学院生の中井裕子・北田郁美の計7名である。

歴史資料遺産研究プロジェクトでは、道明寺天満宮の所蔵史料について、あらかじめ『藤井寺市史』に記載されているものを調べた上で、宮司の南坊城充興氏より、未収載の史料があるかどうかなどについて聞き取り調査を行った。また、同宮の宝物館を見学し、展示してある「織田信長朱印状」など7点と、同宮所蔵の「渡唐天神像」など4点の計11点を撮影した。

聞き取り調査の結果、『藤井寺市史』に未収載の史料があることがわかった。また、他の所蔵機関にも同宮の関係史料があり、来年度以降、引き続き調査を継続する予定である。

2005 年度会議報告

| 月 日 | 会 議 報 告 |
|---------|------------------------------------|
| 4 月 2 日 | 第 1 回推進委員会 |
| 4 月15日 | 第 1 回H Q会議 |
| 4 月20日 | 第 2 回H Q会議 |
| 4 月27日 | 第 3 回H Q会議 |
| 5 月17日 | 第 4 回H Q会議 |
| 5 月18日 | 第 2 回推進委員会 |
| 5 月24日 | 第 5 回H Q会議 |
| 5 月31日 | 第 6 回H Q会議 |
| 6 月 1 日 | 第 7 回H Q会議 |
| 6 月 9 日 | 第 8 回H Q会議 |
| 6 月15日 | 第 9 回H Q会議 |
| 6 月22日 | 第 3 回推進委員会 |
| 6 月29日 | 第10回H Q会議 |
| 7 月 5 日 | 第11回H Q会議 |
| 7 月12日 | 第12回H Q会議 |
| 7 月13日 | 第 4 回推進委員会 |
| 7 月20日 | 第13回H Q会議 |
| 7 月28日 | 第14回H Q会議 |
| 8 月 3 日 | 第15回H Q会議 第 1 回H Q・P.D.・R.A.合同連絡会議 |
| 8 月10日 | 第16回H Q会議 第 2 回H Q・P.D.・R.A.合同連絡会議 |
| 9 月 7 日 | 第17回H Q会議 第 3 回H Q・P.D.・R.A.合同連絡会議 |
| 9 月20日 | 第18回H Q会議 |
| 9 月21日 | 第 5 回推進委員会 |
| 9 月28日 | 第19回H Q会議 |
| 10月 5 日 | 第 4 回H Q・P.D.・R.A.合同連絡会議 |
| 10月11日 | 第20回H Q会議 |
| 10月18日 | 第 5 回H Q・P.D.・R.A.合同連絡会議 |
| 10月19日 | 第 6 回推進委員会 |
| 10月24日 | 第21回H Q会議 |
| 11月 7 日 | 第22回H Q会議 |
| 11月 9 日 | 第 6 回H Q・P.D.・R.A.合同連絡会議 |
| 12月 5 日 | 第23回H Q会議 |
| 12月 7 日 | 第 7 回推進委員会 |
| 12月12日 | 第24回H Q会議 |
| 12月19日 | 第25回H Q会議 |
| 12月21日 | 第 7 回H Q・P.D.・R.A.合同連絡会議 |
| 1 月10日 | 第26回H Q会議 |
| 1 月14日 | 第 8 回推進委員会 |
| 2 月10日 | 第27回H Q会議 第 8 回H Q・P.D.・R.A.合同連絡会議 |
| 2 月22日 | 第 9 回推進委員会 |
| 3 月13日 | 第 9 回H Q・P.D.・R.A.合同連絡会議 |

H Qは事務局の略